

## 学校法人 岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校

### 2024年度 第1回 教育課程編成委員会

日時	2024年9月20日（金） 16:30～17:30
会場	横浜リハビリテーション専門学校 604スタジオにて実施
出席者	齋川 大介 藤沢湘南台病院 リハビリテーション科 理学療法士 鈴川 仁人（公社）神奈川県理学療法士会 理事 錠内 広之（一社）神奈川県作業療法士会 監事 野々垣 睦美 クラブハウス すてっぷなな 統括所長 作業療法士 橋本 卓雄 校長 渡邊 洋治 担当グループ グループ長 瀬古 恵美 担当グループ 教務チーム グループリーダー 中村 啓文 担当グループ 教務チーム サブリーダー（理学療法学科 学科長） 水島 真由美 担当グループ 教務チーム サブリーダー（作業療法学科 学科長） 田中 千恵 担当グループ 教務チーム 課長補佐（理学療法学科 副学科長） 机 里恵 担当グループ 教務チーム 課長補佐（作業療法学科 副学科長）
欠席者	なし。

#### 内容

##### 1. 学校長挨拶（橋本）

3月には国家試験の発表があり、PTが98.1%、OTが95.2%と非常に良い結果を得ることができました。全国平均を上回ったことを喜んでます。また、4月には130名の新入生を迎え順調にスタートしています。そして来年度の入試準備も第1回の入試が実施され順調に進んでいます。

最近の傾向を見ますと教育の多様化が進んでいます。今日はそのような変化に対応した教育について先生方のご意見をいただければと思います。カリキュラムも今後変化が必要と考えていますので、皆様のご意見を参考にさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

##### 2. 初年次教育について

###### ● 作業療法学科の初年次教育について説明（水島）

作業療法学科の初年次教育プログラムは、学生が学生生活にスムーズに適応し、専門知識や実践能力を身につけることを目的としています。具体的には、作業療法概論、作業療法実習、レクリエーション活動学、ホームルーム、心理学、心理検査法、カウンセリング心理学

の科目を通して、コミュニケーションスキルや医療現場での知識、集団療法への理解を深めます。さらに、個別指導やアクティブラーニングを通して、自主的な学習姿勢を育てるサポート体制も整っています。

- 理学療法学科の初年次教育について説明（田中）

理学療法学科の初年次教育プログラムは、新入生が理学療法士の仕事内容を理解し、医療人としての資質を向上させながら、円滑に理学療法士養成課程の学びに移行できるようにすることです。具体的には、基本的な学び方、国語力、医療人としての心構え、学習習慣を育むカリキュラムが用意されています。4年間の学習過程や臨床実習の準備に関する情報も提供され、担任面談や学力強化組指導など、学生の学習と生活をサポートする体制も整っています。

### 3. 教育課程編成委員会検討課題

<問題提起>今回は初年次教育についてご意見を頂戴したい。新入生が入学してすぐにリハビリテーションをイメージしやすく、またスムーズに専門的な授業へ取り組める方法を検討する。

<質疑応答>

錠内：この授業は今現在やっているものでいいか？

田中：すでに実施している。

錠内：学生が抱えている具体的な課題は何かあるか？

瀬古：職業意識がやや不透明な傾向にあると感じている。また医療は沢山の事を学ばなければならないが、学習習慣が身についておらず勉学に対し不安を感じる学生がいる。

野々垣：そのような学生が急に専門的な授業を受けると、どのような混乱や不安を増長してしまうのか？

瀬古：今年度をみると学ぶことの多さに不安が強く、友達にも聞けず、一人考えてしまって休学や退学を選ぶ学生が増えており、とても危惧している。

田中：学生に合わせた授業設計が必要であるものの、学習意欲を失ってしまうと個別に対応してもなかなか難しいと感じる。特にコミュニケーション能力や、基本的な国語力（読む・書く・話す・聞く）の強化が求められるが、すぐに改善できるものではないため、難しい現状である。また医療職は周囲への配慮した行動や態度が求められる。しかし経験が少ないため、求められる行動がとれないこともある。これらが実習中に見られてしまうと現場の患者様やスタッフに悪印象を与えてしまう。誤解を招かないためにも、質的な部分も初年次教育で実施していきたいと考える。

鈴木：やはり早期から現場での実習を増やすことで、学生が医療職に対する理解を深め、学習意欲を高めることは重要だと思う。しかし協会や県士会の内容は1年生ではやや難しい印象を感じるがいかがか？

瀬古：協会や県士会の具体的な話は難しいが、学生が医療現場で求められる具体的な役割や責任感を早期から学ぶことで、専門職として社会的にどのように評価されていくのか理解する必要もあると思う。

斎川：医療職としての高い意識を持つことは、現場でも非常に難しいと感じる。それらをわかりやすく学ぶのにディズニーランドのスタッフ向けにやっている研修会などを参考にするといいかと思った。現場で基本的な態度がなぜ必要なのか、質の向上に向けた意識づけにいいかと思う。

渡邊：会議全体を通じて、学生の成績や態度の改善には、医療職としての意識を早期から教育することが必要だと思う。特に医療社会の中では他の分野と比べると、規律あるもの、質的な部分が非常に求められる。このことを入学検討している高校生が知った上で、リハビリという分野を選択していかなければならない。また入学前の高校生活はどのようにされているのか高校側との情報交換を頻回にしていきたいと考える。

#### 4. その他

次回の教育課程編成委員会開催は2025年3月14日金曜日を予定している。

以上

文責；机